

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[アラームをクリアする方法](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、DS3XM のアラーム表示信号/仮想トリビュタリ ( AIS-V ) のアラームをクリアする方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報はソフトウェア バージョンにバージョン 3.0 より先に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな ( デフォルト ) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## アラームをクリアする方法

DS3XM AIS-V アラームをクリアするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. どのポートが影響を受けているか判別して下さい (たとえば、ノード ID、スロット 番号、ポート番号、または仮想トリビュタリ[VT]数)。
2. それ自身に戻って影響を受けたポートからの一方向 VT回線を作成して下さい。回線にすぐに認識できる名前をつけて下さい。たとえば、ノード 1 はノード 1 に >スロット 2> ポート 2> VT 13> スロット 2> ポート 2> VT 13 相互接続しました。

3. DS3XM カードのためのカード ビューに行ってください。
  4. 『Maintenance』 をクリックし、次に **DS1** タブをクリックして下さい。
  5. アラームで VT を見つけて下さい (たとえば、DS3 #2 か DS1 #13)。
  6. **ループバック タイプ**の下で 『Facility ( line )』 を選択し、次に 『Apply』 をクリックして下さい。
  7. 『Circuits』 をクリックして下さい。
  8. ステップ 2.で作成した一方 通行 回線を取付け、選択して下さい。
  9. [Delete] をクリックします。
  10. 削除確認ボックスで 『Yes』 をクリックして下さい。
  11. DS3XM カードのためのカード ビューに行ってください。
  12. 『Maintenance』 をクリックし、次に **DS1** タブをクリックして下さい。
  13. ファシリティ ( 行 ) ループバックで VT を見つけて下さい。
  14. **ループバック タイプ**の下で 『None』 を選択して下さい。
  15. [Apply] をクリックします。
  16. 『ALARMS』 をクリックし、AIS-V アラームがクリアであることを確認して下さい。
  17. DS3XM カードのすべての AIS-V アラームのためのこれらのステップを繰り返して下さい。
- 。

## [関連情報](#)

- [光製品に関するサポート ページ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)